

中学2年生・1年生、保護者対象の説明会

県立高校改革における

「新たな学力向上進学重点校」とは何だ！

次 第

- 1 新たな学力向上進学重点校について
- 2 取組みの内容
 - (1) アクティブ・ラーニング
 - (2) グローバル教育
 - (3) 進学指導
- 3 高校生による「即興型英語ディベート」

主 催 神奈川県教育委員会

後 援 横浜市教育委員会 藤沢市教育委員会

「県立高校改革基本計画」（平成 27 年 1 月）

改革のコンセプト

「生徒の学びと成長にとって何が必要かという視点を最優先にする（スチューデント・ファースト）」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で改革に取り組みます。

改革の重点目標

- 1 すべての生徒に自立する力・社会を生き抜く力を育成します
- 2 生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育に取り組みます
- 3 共生社会づくりに向けたインクルーシブ教育を推進します
- 4 学校の教育目標の着実な達成をめざす学校経営に取り組みます
- 5 地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます
- 6 生徒が安全・安心で快適に学べる教育環境の提供に取り組みます
- 7 少子化社会における適正な規模等に基づく県立高校の再編・統合に取り組みます

「県立高校改革実施計画（全体）」（平成 28 年 1 月）

「県立高校改革基本計画」での位置づけ

重点目標 2 「生徒の個性や優れた能力を伸ばす教育に取り組みます」

取組みとその概要

教育課程の改善[再掲]

将来の日本や国際社会でリーダーとして活躍できる高い資質・能力をもった人材を育成するため、県教育委員会が示す指標に基づいて学力向上進学重点校を指定します。

指定を受けた学校では、幅広い教科・科目の指導や総合的な学習の時間での探究活動の取組み等を通じて、生徒一人ひとりに高い学力と、豊かな知恵や経験を身に付けさせ、進路希望の実現が図れるよう取り組みます。

○ 学力向上進学重点校の指定（10校程度）

県教育委員会が示した指標に基づき、生徒一人ひとりに高い学力を身に付けさせ、豊かな人間性や社会性を育むなど、バランスのとれた教育活動、進学実績、学校運営等を総合的に選考して指定（3年ごとに改めて指定）

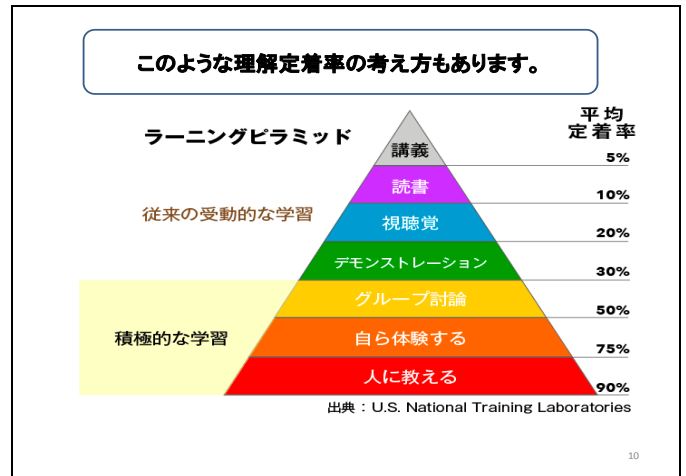
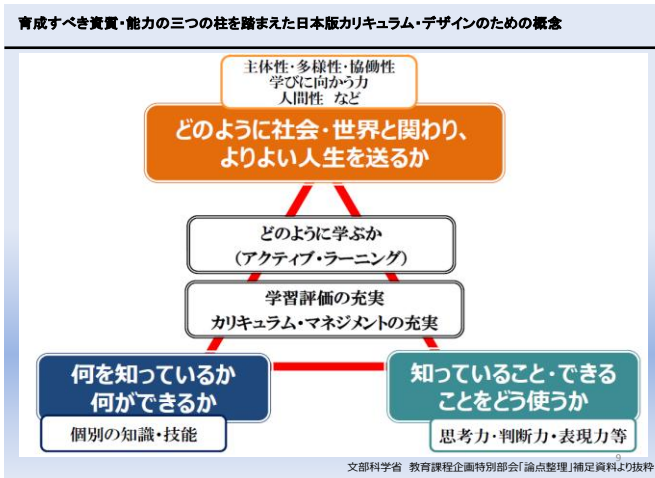
※ 28年度にエントリーした学校を2か年にわたってエントリー校として指定。その成果を指標に基づいて検証し、30年度に新たな学力向上進学重点校を指定

学力向上進学重点校の指定にあたっての指標は次のとおりです。

- 1 めざす生徒像を見据えて、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）のある教科指導等を展開し、高いレベルの思考力・判断力・表現力等の能力の育成を図るため、各学校において達成すべき学力水準を示している。
- 2 県教育委員会が実施する生徒学力調査（2学年）の結果により、高い学力を身に付けさせている。
- 3 生徒の7割以上が在学期間中に、英語検定2級程度以上のレベルを達成し、高い英語力を習得している。
- 4 生徒の探究活動や全国規模の大会等での取組みなど、学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間性や社会性を育み、その成果をあげている。
- 5 全県立高校の中で、いわゆる難関と称される大学への現役進学において高い実績をあげている。

取組みの内容

(1) アクティブ・ラーニング



(2) グローバル教育



語学研修

United States
of America



(3) 進学指導

